



Photo by けんじいさん (1/21 700am)

山域 北アルプス前衛上高地、西穂山荘(佐藤)

日程 2018/1/20 (Sat) ~ 21 (Sun) 前夜発

天気 晴れ、くもり

メンバー SL 狩野、SL 田中、時田、齋藤健、飯田、堀田、室た、佐藤、上荒磯(記録)

コース&タイム

19 (Fri)

千葉 2130→談合坂 SA2330→松本 IC→道の駅風穴の里→沢渡駐車場(仮眠)

20 (Sat)

- ・ 狩野パ沢渡駐車場 700→釜トンネル 900→大正池 1000→上高地帝国ホテル→西穂登山口→河童橋 1250→小梨平 1300
- ・ 佐藤パ沢渡駐車場 700→平湯→新穂高温泉→新穂高ロープウェイ→西穂山荘→(2.5h)→小梨平 1400

21 (Sun)

小梨平 1000→釜トンネル出口 1210

●はじめに●

1 月定例山行は恒例の上高地ハイク&雪中キャンプだ。狩野さんお手製の大きいソリでテントや食料などの共同装備(一部個人装備も?)をテント場の小梨平まで運ぶ。ソリの話は前から聞いていたので今日を楽しみにしていた。

●前夜●

談合坂 SA で全メンバーが揃い仮眠予定地の道の駅に着いたが、より釜トンに近い沢渡駐車場に変更することに。小梨平のこわい話を聞きながらくねくねし

た道を行くと沢渡に着く。

車を出ると星がきれいだ。他に車はちらほらとあるだけで、テントスペースは十分にあり早速テントを張る。私ははじめてちゃんとしたテントを張るので作法がわからずあたふたしたが、みなさんの慣れた手によってあっという間に完成する。近くに広い足湯もあったがだれか入っただろうか。おやすみ前の小宴会のあと、明日のソリ犬になるべく力を蓄えることにしてシュラフに潜る。

●1日目●

目がさめるともうす明るくなっていた。冬装備の身支度をして釜トンネルに向けて沢渡を出発する。釜トンまではすぐの道のりだ。ソリや装備を車から降ろしてドライバーは沢渡に車を置きタクシーで戻ってくるふうにする。その間にせっせとソリの準備する。

みんなが揃いいざ！とソリを起動させるといやな音がする。ソリを乗せるキャスター台を固定するゴムが切れたらしい。応急処置でなんとかかなりそうではあった～



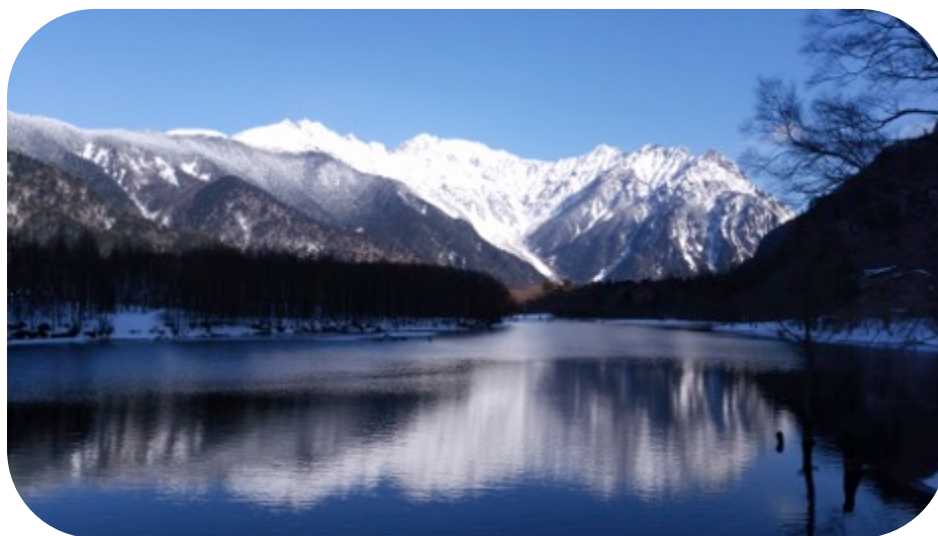
ソリ起動準備

すいすいと釜トンネルを抜けるともう一つ上高地トンネルがある。さらにそ

こを抜けると道は雪になりソリの出番だ。カーブを曲がると大正池が広がり、奥の穂高が水面に映る。今回は小梨平までのゆったりハイクなので写真タイムやお茶タイムで景色を楽しみながらソリを進めていく。



田中さんピンク色のスパッツがお似合いです



大正池に映る穂高連峰と明神岳

途中、上高地の帝国ホテルなんてお高いんだろうな〜と話しながら、手前の道を左に行って西穂登山口に寄ってみる。西穂山荘に行った佐藤さんはここに降りてくるんだよと雪に佐藤さんへのメッセージを残してそこをあとにする。



西穂登山口

河童橋まで行く間にたくさんのスノーシューハイカーとすれ違った。ツアーでもやっているのか。でも、凍った道が多いのでアイゼンの方が歩きやすいような？

これが河童橋か〜とソリを止めてしばしの写真タイム。振り返ると焼岳がとってもきれいだ。時田さんによるといつもはこの橋は雪で真っ白なのに、今日は全然ないのだそう。



河童橋



からの焼岳

小梨平までもうすぐそこ。手前の沢でキンッキンに冷たい水をプラティパスに入れてから、小梨平に到着してテントの設営をする。風が少し出てきた。地ならしの光景は私にははじめて見たので、まるでやばい宗教団体のようでもしろかった。

ストックやスリングを使ったテントの風対策は、あるもので工夫する技が満載で知っておかなければならないなととても勉強になった。



気づかれた！



テ・ン・ト

今日の寝床が整ったところで 14 時頃をまわり、お酒片手にお料理タイム。私はアイスクリームの素を作り、時田さんのお手伝いをするためあとは堀田さんにおっぼる。本当にできるのかとブツブツ文句を言いながら雪の上でコロコロしていたが、後で後悔することになるとはまだ知らない。

室たさんでもじゃがいもの皮が剥けるんだ〜と感心をしていると佐藤さんが帰ってきた。計画通りの下山ルートではなかったみたいで登山口のメッセージは気付かれなかったのが残念・・・

りんごとレーズン入りのポテトサラダをはじめ、ごぼう天やブイヤベースからのチーズリゾット、みそこんにゃくおでん、室たさん差し入れ焼肉などなど盛りだくさんメニューでお腹いっぱい！外に転がしておいたアイスクリームもそろそろ出来上がったかな？田中さんにドk・・・味見をしていただくとおいしい！と喜んでくださり、予想外に大好評でうれしかった。うん、これは自分でも感動！

14 時から始まった宴会もそろそろ眠くなってきて 19 時頃におやすみ。けんじいさんには見えた月が私には見えなかったが、今日も星がきれいだった。

●2 日目●

7時ころごそごとと起きはじめ、朝日に照らされる穂高を見に河童橋まで行く。山頂付近には雲が佇む。でもだんだんと赤く染まっていく山はとても美しく、寒さを忘れる。

朝ごはんもまた幸せメニューだった。ホットサンドはおかず ver とマシュマロバナナチョコのデザート ver も。



いい色～

テントの扱いもだんだんわかってきてスムーズに撤収を終え、帰る準備をする。ソリは田中さんにより引きやすいようにパワーアップされる。

予定よりだいぶ遅れて10時出発。名残惜しいように景色を見ながら来た道を帰る。木に登っていくリスを飯田さんが気づきとってもかわいかった。



ソリはアップロードされました



トンネルイエーイ！

12 時過ぎには釜トンネルを出て、先に沢渡に向かったドライバー組を待つ。
車に荷物を全部乗せてあっという間の上高地キャンプを終えた。

以下、西穂山荘に行った佐藤さんからです。

・交通費は約 7000 円余計にかかりましたが、効果・満足度を考えると高いですね^^;自分としては楽しめましたけど。

(内訳)

タクシー代 4140 円＋平湯から新穂高温泉までのバス代 890 円＋ロープウェイ片道(手荷物代込)
1900 円

・車ではなく、公共交通機関を利用して独標や西穂山行を行うときには、下山路としてアリかも知れない。

(例)

新宿から平湯まで高速バス、平湯から新穂高温泉まで路線バス、中の湯から松本まで路線バス、
松本から新宿まで高速バス

・西穂山荘からは4～5人程度のトレースがあった(ワカン使用)。今回はトレースは使用せずにルートファインディングしながら気ままに下った。

・ 斜度が 30 度以上のキツイところがありスノーシューでは無理。今回のように降雪から日が経ち好天が続いて雪が締まっていればツボ足やワカンのほうがよい。

・ 夏道は斜度がキツイので、途中から沢沿い（善六沢）に入って河童橋の裏手（ホテル白樺荘の裏）に出た。沢筋には小さいデブリがいくつかあった。降雪後や気温が上がると危ないかも知れない。沢右岸を進み斜度が緩くなるとスノーシューが快適。お猿さんが多い。

・ 所要時間は西穂山荘から 2 時間 3 0 分（休憩 1 回込み）



●おわりに●

はじめてのテント&雪ベッド&上高地&手作りアイスクリームでいろいろなことが想像もつかなかったが、大好きなメンバーに囲まれた今回の山行はとてますばらしい経験になった。あちこちに技が散らばりこれからも覚えることがた

くさんありそう。脳が足りるだろうか。あっという間の 2 日間、おいしいごはん
とハッピーな時間をありがとうございました。狩野さんにソリの修理をお願い
して終わります。



小梨平で